

カワバタモロコと生きる水

生駒市立上中学校

二年

飛田

優太郎

私は、生き物が好きだ。飼って、じっくり観察したり、興味を持った生物について本や図鑑で調べたりして、楽しんでる。

ある日、絶滅危惧種について調べていると非常に興味深い生物に出会った。それは『カワバタモロコ』という魚だ。

カワバタモロコは、絶滅危惧種1B類に指定されている。日本固有の淡水魚で、世界中でも日本にしかいない貴重な魚である。かつては日本のどこにでも見られた魚だったが、外来種の放流、里山や水田の荒廃などが原因で姿を消していったらしい。

何と、そのカワバタモロコが平成二十六年に生駒市内のため池で見つかったのだ。この魚は、『里山を象徴する魚』と言われており、昔ながらの水田生態系が維持されている場所にしか生息していない。つまりこのため池に

は、カワバタモロコのような住める環境がなくなってきた数が減っている生物が住める環境・『きれいな水』があるということだ。私たちが住んでいる生駒市には、このように自然が昔のまま守られている所があるのだ。

豊かな自然環境に恵まれた住宅都市として発展してきた生駒市だが、山を切り開いて宅地化するなど、自然をこわしてきたところもある。これからは、今ある自然を守り希少種を含む生物との共生を踏まえた地域の環境づくりが必要である。

では、そのような生駒市をつくるために今の私に何ができるのだろうか。私は、水を大切に使うていくべきだと思う。水は無限に出てくるわけではない。水が必要としているのは、もちろんカワバタモロコだけではない。我々人間も、そして地球上に生まれたすべて

の生物が水がなければ生きていけない。だから、カワバタモロコが住める水を守ることが私たちの生活を守ることもなると、私は考えた。

水を守っていくために私は二つのことを実行していく。一つ目は、食器を洗う時は、はじめに油や汚れをふき取り、できる限り油を流さないようにし、使う洗剤の量を減らすことだ。これをする事で、少しでもきれいな水が増えていってほしい。二つ目は、地球のごみ拾いなどの活動に積極的に参加することだ。また、市が行っているリサイクル活動に協力し、生駒市の『ごみ半減トライアル計画』の力になりたい。

このような活動を行い、水を守っていきたい。また、活動を通して、新たに水の大切さに気づいていきたい。